

# 創造的なものづくり研究

精密機械技術科 教授 中野 貴之

今後、ものづくり人材にはデジタル技術を活用できるスキルがより一層求められ、同時に、我が国のものづくりの源泉である熟練技能は、多くの企業が今までどおり必要と考えている。製造業はもちろんのこと、福祉・介護産業、環境産業などのあらゆる分野で、自動化、集約化などのハイテク技術を活用した取り組みがなされている中、本研究室は、デジタル技術とローテク技術を組み合わせて、本校独自のユニークな製品を製作することを目的として取り組んでいる。

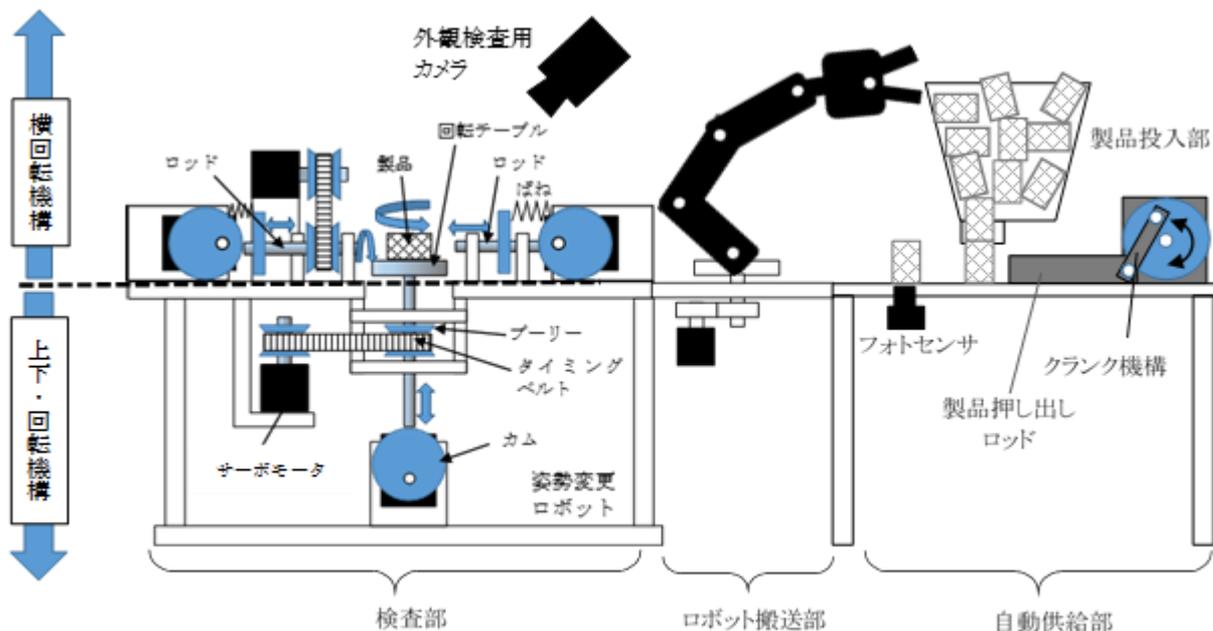


図1 自動車用配線コネクタの外観検査装置のイメージ図

自動車の配線コネクタの成形不良は、目視で検査されており、検査の自動化が求められている。R3年度、コネクタをカメラ前に搬送してコネクタの外観を検査する装置を試作した。

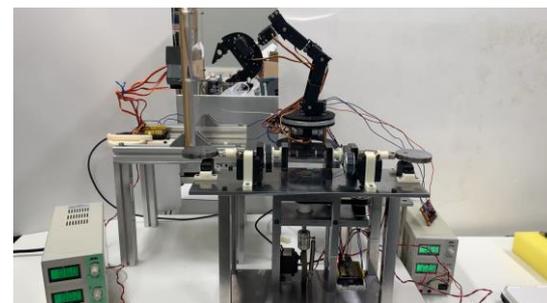


図2 実際に製作した装置